

地下水クイズ 答え

① 地下水を育む田畑で生産された米などの農産物・農産物加工品やそれを食べて育った畜産物を、地下水を使用する企業や住民が積極的に購入・消費することで地下水保全につながる取り組みを何というでしょう。

- ・カーボンオフセット
- ・ウォーターオフセット
- ・水田オーナー制度

答え： ウォーターオフセット

*熊本地域の地下水にとって、田んぼの役割はとても重要です。雨や河川から田んぼに供給された水は、ゆっくりと地下に浸透し、私たちの生活や産業に欠かせない地下水となっています。近年、様々な社会的背景によって、地下水を育む田んぼが減ってきています。地下水を育む田畑で育った農産物やそれを食べて育った畜産物等を購入することは地下水を守ることに繋がります。

②熊本地域の重要なかん養域である白川中流域で生産されたお米は、ご飯1杯(150g)で約何リットルの地下水を育むことになるでしょう。

- ・250リットル(お風呂約1杯分)
- ・500リットル(お風呂約2杯分)
- ・1500リットル(お風呂約6杯分)

答え： 1500リットル(お風呂約6杯分)

*田んぼは米づくりの間、水を張っていることで常に水が地下に浸透するため、地下水かん養に大きく貢献しています。

特に、白川中流域(大津町・菊陽町など)の田んぼは水が浸透しやすい土壌のため、通常の田んぼの5~10倍も水が浸透します。白川中流域では、ごはん1杯分(150g)のお米を生産するときにお風呂6杯分※(約1500ℓ)の地下水が育まれます。

③土づくりをして、化学合成された肥料や農薬をできるだけ減らした“環境に配慮した農業”のことを熊本県では「くまもと〇〇農業」と呼んでいます。〇〇に入る言葉はなんでしょう。

- ・グリーン農業
- ・スマート農業
- ・アグリ農業

答え： グリーン農業

*土づくりをして、化学合成された肥料や農薬をできるだけ減らした“環境に配慮した農業”のことを熊本県では「くまもとグリーン農業」と呼んでいます。また、「地下水と土を育む農業」とは、地下水の水質や量の保全、地力の増進に寄与するように、土づくりを行いながら減農薬・減化学肥料や堆肥の活用、飼料用米作付、水田湛水等を行う農業のことをいいます。くまもとグリーン農業や、地下水と土を育む農業のシールが張られた農産物や加工品を購入することは、地下水を育み、さらに水質保全にも寄与します。